きよた 練子 高槻市会議員

2017年9月5日 NO. 65

高

救急

たすために、

「消防力

併せて、職員数を増や

してきました。しかし、

ンターチェンジ開通に

高槻市では名神の

消防が責任を十分に果

消防庁は、

市町村の

す

「算定数」を目標に

集中豪雨や土砂災害な

ど自然災害が増えてい

まだ8割の充足率です

地域の実情に見

います。整備指針が示

の整備指針」を示して

を整備することが求め

必要です。

合った十分な消防体制

る中、

消防力の強化が

発 行:日本共産党高槻市会議員団 きよた純子 連絡先:議員団控室 TEL072 - 674 - 7230 FAX072 - 674 - 3202 上本町 3 - 25 TEL / FAX. 676 - 5068

消防力

られています。

(表1)

	算定数	高槻市の整備数	充足率
署所数	1 1 署所	9署所	81.8%
消防ポンプ車	17台	16台	94.1%
救急車	1 1 台	1 1 台	100%
職員数	417人	341人	81.8%

(2017年4月1日現在)

消防費	市民1人当たり 約9,276円
消防職員数	市民約1,038人に1人

(2017年4月1日現在)

6%で、 八が増えています。

す。

に応じて救急車の出動

火災状況

12 件、 います。 件です。 災が43件、 加 重な財産が灰になって 2616万9千円の貴 しました。 前年度より1件増 年の火災は76 その他火災21 損害額は約 車両火災 建 物

救 急

ます。 と高く、そのうち65 才以上の高齢者は64・ 急病の割合は4・9% でした。 員は1万8544 2万317件、 1295件、 人とそれぞれ増えてい 昨 年の救急出動 搬送人員の内 高齢者の急病 前年に比べ 1 1 2 4 搬送人 は ンサー

	2016年度の 平均	2015年	2016年
火災	約4.8日に1件	75件	76件
救急出動	1日に約56件	1万 9022 件	2万317件
搬送人数		1万7420 人	1万 8544 人

で火を使う器具、 3年計画で、

をしています。

住宅防火診断

況を確認する詳細診断 た、希望者には住宅内 います。玄関先で話を らしの高齢者を対象に ジやストーブなどの状 して診断する場合、 が訪問し、診断をして 高槻市内のひとり暮 消防職員 ま

		一般住宅	共同住宅	その他	合計
訪問	診断	758件	641件	1 件	1400件
詳細診断	良好	1 0件	1 2件		22件
市十州市乡内	指示あり	2件	2件		4件

もしもの時	もしもの時の緊急通報装置の設置も	置の設置も
高槻市では、緊急通	昨年度の設置台数は、	手配も行っています。
		丸気コクノナー

認体制を拡充するため、 世帯です。2014年 らし高齢者に熱感知セ 度から見守りや安否確 齢者のみの世帯や日中 報装置の設置対象は高 希望する人で、一人暮 にひとり暮らしとなる を設置していま 緊急通報装置1580 台 要請を行います。 ている救急要員に出動 救命救急講習を修了し ターにつながり、 委託事業者の監視セン 479台でした。 高齢者からの通報で 熱感知センサーは 普通

こともあります。 切になっています。 えている中、高齢者の り暮らしの高齢者も増 れられているのを発見 応がなく、救急で駆け つけた結果、自宅で倒 熱感知センサーの反 病院に搬送される 安心の確保が大 ています。 ひと

製容器包装が5%。

業所からは、リサイク

ラン」として、市民と

みが多量に混入してい

月3日~12月28日の間

古紙などリサイクルご

の回収

(2017年7

る場合は、搬入業者に

で回収)

などのリサイ

保健所・保健センター

対し、持ち帰りの指導

の目標を大きく上回り

年度に30%削減すると

その結果、2010

を実施しています。

も強化されています。

情報収集室

交流室

プレイルーム

出入口

出入口

受付 ▶

クルに向けた取り組み

みの減量に取り組み

横浜市では事業系ご

2003年12月から焼

43・2%削減を達成して

却工場での搬入物検査

います。

保育室

また、

水銀含有製品

を強化。搬入不適物や

廃棄物の処理につい

て

横浜市、豊橋市へ行ってきました。 8月16日、17日、日本共産党市会議員団の会派視察として

ごみの排

が10%、 リサイクル可能な古紙 れる燃やすごみには、 に実施。家庭から出さ 成調査を2012年度 におこなう、ごみの組 出状況を把握するため プラスチック

プラスチック製容器包 すごみの中に35%。事 装が14%。生ごみは、 は、「ヨコハマ3R夢プ 業所からは40%含まれ ているとの結果でした。 家庭から出される燃や ル可能な古紙が20% そのため、横浜市で

事業者と協働し、

リサイクル・リデュー ス(発生抑制)の取り 分别·

活用と確保を目的に 源・エネルギーの有効 組みを進めています。 環境負担の低減や資

組み

こども発達センター

相談ができ、子どもの は 子どもの発達につ 保護者が気軽に

> 的としています。 育ちを支えることを目 また、

疑いのある子どもを対 発達障害や、

象に医師による診察を 他にも相談、 行なっています。

などの各種サービスを 置しています。 ど、専門スタッフを配 保育士、臨床心理士な 提供。そのため、保健師 通園事業 その



診療科目

☆発達に関する全般的なこと

·····小児科 ☆ことば・発達の遅れ、集団行動、 対人関係の問題など…児童精神科

た計画です。

☆運動器疾患の問題など

····整形外科

えに関することなど

………耳鼻いんこう科

☆障がい児歯科

※必要に応じて心理検査・心理療法を実 施します。

6 5 4 3 3 処置室 感覚運動療 法室

> よた純子 き

ご連絡ください
676-5068

第3休午後2時~4時

場所:八幡町1-33 TEL: 673-0002

第4休午後2時~4時 場所:川添2-3-12 TEL: 692-0144